医療と介護。そして、その未来へ。

せいすい

Medical & Nursing care. Leading toward the future. SEISUI

ご自由にお持ちください

Contents

02 | 令和８年度入職式 / 学生の目を医療介護業界へ
03 | 小さな病院職員の大奮闘 / 腎臓病になる前にできること
04~05 | 持続可能な手厚い介護を目指して
06 | 50 周年動画公開中 / カラダが喜ぶレシピ紹介
07 | 清水会カップ・わくわく市のご案内

2026.05. Vol.46



表紙写真 / 京都府 天橋立にて
撮影：もりぐち清水会病院　山内康雄 Dr

清水会グループ

WEBで情報発信中

携帯電話で
二次元コードを
読み取って
ご覧いただけます

- 清水会ホームページ
- 採用特設ページ
- インスタグラム

ご案内図



医療法人 清水会



ミズノ胃腸科・内科・整形外科
〒535-0022
大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6952-5058



もりぐち清水会病院
〒570-0038
守口市河原町3-12
☎06-6997-0101



介護老人保健施設 おひさま園
〒535-0021
大阪市旭区清水2-1-21
☎06-6952-0101



森小路清水会クリニック
〒535-0022
大阪市旭区新森3-3-24
☎06-6958-7070



トム・ソーヤ訪問看護ステーション
〒535-0022
大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6956-0505



もりぐち清水会病院 橋波リハビリセンター
〒570-0039
守口市橋波西之町2-4-19
☎06-6991-0030



門真クリニック あいわ診療所
〒571-0048
門真市新橋町2-12
☎06-6908-0721

社会福祉法人 清水福祉会



特別養護老人ホーム
養護老人ホーム
旭さくら苑
〒535-0021
大阪市旭区清水3-15-23
☎06-6957-8008



ケアハウス鶴見緑地
〒570-0044
守口市南寺方南通3-4-16
☎06-6998-3003



特別養護老人ホーム 城東こすもす苑
〒536-0016
大阪市城東区蒲生2-2-38
☎06-6933-2002



特別養護老人ホーム 鶴見緑地苑
〒570-0032
守口市菊水通3-16-2
☎06-6995-5005



サービス付き高齢者向け住宅 さくら
〒535-0022
大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6958-7007



介護付き有料老人ホーム 鶴見緑地
〒570-0043
守口市南寺方東通1-1-31
☎06-6997-9009



特別養護老人ホーム 城東さくら苑
〒536-0004
大阪市城東区今福西6-6-20
☎06-6939-7000

私たちは、スポンサー活動を通じて地域社会への貢献を推進しています。
FC TIAMO HIRAKATA
清水会グループはFCティアモ枚方のオフィシャルゴールドスポンサーです。
OSAKA SANGYO UNIV. CORN HUSKERS 大阪産業大学体育会男子バスケットボール部



令和8年度

清水会グループ合同入職式

清水会グループにようこそ！

満開の桜が雨に濡れる4月1日、特別養護老人ホーム旭さくら苑にて入職式を執り行いました。社会福祉法人清水福祉会　水野智志理事長をはじめとする職員が立ち会い、当グループに新たに加わる27名の門出を祝しました。

水野智志理事長は「当グループは50周年を昨年に迎えました。患者さま、利用者さま、そして地域に愛される施設を目指すことは法人の理念として変わりません。ぜひ皆さんには、患者さまや利用者さまの立場にしっかり立って業務をしていただきたいと思います。次の50年に向けて、清水会グループを背負っていくという意気込みで一緒に頑張りましょう。」と呼びかけました。

次いで、新入職員は自己紹介で、「相手の気持ちに寄り添い、また笑顔を届けられる看護師になりたい」「安心安全な介護を心がけて入居者の方に信頼される介護士になれるよう頑張りたい」「なんでも相談していただける理学療法士を目指す」などと一人ひとり抱負を語りました。

当グループで社会人としての一歩を踏み出す新入職員は、初めての辞令交付を緊張の面持ちで受け、心機一転、仕事への意欲に燃えているようでした。

新入職員は3日間の全体研修を受けて各事業所に配属され、先輩職員のOJT研修を受けながら独り立ちを目指します。

Welcome to Seisuikai!

小さな病院職員の大奮闘 ♪キッズ仕事体験♪

もりぐち清水会病院

3月25日～31日の1週間、もりぐち清水会病院にて「キッズ仕事体験」を開催しました。35名の子供たちが来院し、普段なかなか見ることができない、病院職員の業務の一部を体験していただきました。

体験ブースでは、子供たちが小さな専門職となって大活躍。例えば薬剤師体験ブースでは、薬に見立てたお菓子を使って、服用のタイミングが同じ複数の薬を1袋毎にまとめる一包化作業に挑戦しました。自分たちが作った『お薬』を手にとても喜んでいました。また、医師・看護師・リハビリ技師・放射線技師の仕事も、実際の医療機器を使い体験してもらいました。参加したお子さまは初めて見るもの、体験することに「楽しかった！」と口を揃えていました。その様子を見守りながらスマホで写真を撮るお母さま方の姿に加え、職員も「かわいいなぁ」と自然と笑顔があふれ、病院は温かな雰囲気に包まれました。

もりぐち清水会病院健診センターの岡村課長は「初めての取り組みでしたが、とても喜んでいただくことができました。私たちは、地域の方々に病院をより身近に感じてもらいたいと考えています。この機会を通じて、お子さまと親御さまに医療に興味を持ってもらえると幸いです。もっと言えば、一人でも医療人になってくれる子がいれば嬉しいです。」と話していました。







門真クリニック

市民公開講座

腎臓病になる前にできること

2026年2月28日、門真クリニックあいわ診療所は門真市立公民館にて市民公開講座を開催し、当日は25名の皆さまにご参加いただきました。

「病気になる前にできること」をテーマに、講座の冒頭では高橋院長が「血管の老化を防ぐ生活習慣」と題し、腎臓病と血管の密接な関連性やその予防について、ユーモアを交えながら分かりやすく解説しました。

続いて、田中管理栄養士より「からだにやさしい適塩生活のすすめ」と題し、日本人の塩分過剰摂取の現状や、塩分を控える調味料の使い方など、日々の食事でできる工夫を紹介しました。最後に、土井事務長代理が日本の医療制度の現状に触れつつ「上手な病院のかかり方」について講演を行い、自分に合った「かかりつけ医」を見つけることの大切さを伝えました。

多くの腎臓病患者さまがいる中で、限られた医療資源を有効に活用するためにも、一人ひとりが予防に取り組み、自分に合ったかかりつけ医を選択することは、ご自身のみならず社会にとっても大切です。今回の講座が、参加された皆さまの健康的な生活習慣への第一歩につながれば幸いです。







学生の目を医療介護業界へ



医療介護サービスの需要は増え続け、その担い手の確保が課題となっています。当グループでは、総合大学の学生たちにも医療介護業界への理解を深める機会として、インターンシップを実施しています。

3月25日には、当グループがスポンサーを務める大阪産業大学男子バスケットボール部の選手たちへ向けて開催。今回のインターンシップでは、選手としての性格や競技生活で培った力が、医療・介護の現場でいかに強みとなるかを理解してもらうことを目指しました。ワークショップでは、自分では気づいていない長所をチームメイト同士で見つけ出し、それらの長所を活かした『理想の介護事業所』をグループで構想しました。人事担当の西田係長は「この業界にも皆さんが活躍できる『コート』があるので、ぜひ医療介護業界にも挑戦していただきたい。」と学生に期待を寄せました。

SPECIAL INTERVIEW

持続可能な医療と介護を目指して

―変革の時を迎える介護現場―


左から元塚副主任、村山主任、中野さん、東事務長

少子高齢化により、医療介護人材の需給バランスの不均衡が続いています。従来の方法を維持するだけでは、質の高い医療・介護サービスの提供を継続することが困難になりつつあります。これに正面から向き合い、「DX化※1」に取り組んでいるのが、介護老人保健施設おひさま園です。
今回、東事務長、介護職の村山主任、リハビリ職の元塚副主任、看護職の中野さんに、ICT※2機器の導入の背景から、それによって現場がどう変わったのか、今後のケアについて伺いました。(以下、敬称・役職名略)

いろんな疑問をインタビュー



Q おひさま園の大規模導入の背景は何でしょうか?

東 令和6年の介護報酬改定で『生産性向上』が強く打ち出されたことを一つの大きなメッセージと捉えました。当園では以前から業務改善に取り組んできましたが、開設から30年弱経ち、PHSの台数不足やナースコール設備の老朽化が課題としてありました。これを、大阪府が介護現場のDX化を目指して実施している補助金と伴走支援プログラム※3を活用しながら、単なる設備の更新ではなく、現場の課題を解決するためのICT機器導入に踏み切りました。

Q 運営的には設備更新のタイミングでICT化による効率化を進めようということですね。業務内では具体的にどのような課題があったのでしょうか?

元塚 以前はPHSが限られた台数しかなく、誰がどこで何をしているか把握するのが困難でした。ナースコールが鳴っても、誰が対応しているのか分からず、リハビリの手を止めて対応することも多かったです。情報共有のための会議にも多くの時間を費やしていたので、利用者さまと向き合う時間を確保できたらなぁ…と。

村山 内線がPHSにかかってくると、そのスタッフを探しに廊下を走り回ったりして、利用者さま対応以外のところに時間を取られてしまうもどかしさがありました。ナースコールもPHSを持つスタッフが訪室して様子を確認したりと、PHSを持つスタッフの負担が大きいと感じていました。

中野 それにPHSでは、どの部屋が呼んでいるか、という最小限の情報しか分かりません。複数のナースコールが同時に鳴ると、どちらの利用者さまの緊急性が高いかとっさの判断に迷いが生じるという課題もありました。



―共通して情報共有に課題を感じていたということですね。

東 挙げられた課題の解決はICTの得意とするところです。PHSをスマートフォン(以下スマホ)と骨伝導式のインカムに替え、居室には見守りカメラを設置しました。これらはスマホと連動しており、インカムで通話ができますし、ナースコールが鳴った際は、手元のスマホで室内の様子を確認できるようになり、状況に合わせたお声がけができるようになりました。インカムは介護職員だけでなく、看護職員、リハビリ職員にも連携しています。



Q ICT機器に限りませんが、新しい技術や物を導入するにあたり問題や新たな課題はありませんでしたか?

東 当初は、センサーの調整や操作への慣れなど、多少の試行錯誤はありましたが、大きな問題はありませんでした。それ以上に現場にもたらされたメリットの方が大きいです。

中野 スマホの画面で状況が見えるようになったことで、ナースコールが鳴ったとしても『服を整理するために動かれているな』といった判断ができ、落ち着いて対応ができるようになりました。逆に、緊急性が高そうなときは即座に向かうことができます。優先順位が手元で判断できるのは、利用者さまの安全確保の上で大きな変化だと思います。職員間で同じ問題意識を持っていましたし、スマホもほとんどの人が使っているので、すんなり受け入れられたと思います。



Q スマホをすでに使い慣れているということは導入の障壁を低くしそうですね。情報共有について課題を挙げていましたが、その点はどうでしょうか?

村山 インカムのおかげで、スタッフ間がリアルタイムでつながれるようになりました。『誰々さんがトイレに行きたいそうです』という情報が流れると、すぐに応じることができます。集中していた負担が、今は全員で情報を共有し、助け合うことができます。もうスタッフを探しに走り回らなくて良いです。

元塚 見守りカメラの録画機能により、事故が起きた際の状況を正確に振り返ることができるようになりました。事故はスタッフがいないところで起こりますので、その発生状況は本人の記憶や発見者の証言をつなぎ合わせた憶測に頼っていました。今はその録画映像を見て分析することで、その方にとってより良い対策を立てることができ、カンファレンスの質が格段に上がりました。



東 効率化以上の効果もあって、毎朝インカムを通して『今日も一日よろしくお願いします!』という挨拶が交わされています。休憩に入る際も『お昼入ります』と。思わぬ効果で、スタッフ間のコミュニケーションが活発になり、現場の雰囲気も良くなったと感じます。

Q 最後に、持続可能な医療・介護について、考えを聞かせてください。



東 この業界に『生産性の向上』という言葉はそぐわない、と言われてきました。しかし、2040年問題※4という目に見えた課題に対して、効率化は避けられないことです。今回利用した大阪府の伴走支援プログラムだけでなく、中野看護師も厚労省が開催する介護現場における生産性向上の研修に参加しています。介護現場における生産性向上とは『介護の価値を高める』ということです。テクノロジーに頼れるところは頼り、今まで以上に利用者さまに寄り添う時間を増やして、将来にわたって利用者さまに質の高い医療・介護を提供し続けられるように挑戦していきます。

最新のICT機器を導入して効率化に挑むおひさま園ですが、ケアには人の手が必要です。おひさま園の挑戦は人間の温かさとテクノロジーが共存する、これからの介護のあり方のひとつです。持続可能な医療と介護の提供に向けて、おひさま園は新たな取り組みを続けていきます。



脚注
※1「デジタルトランスフォーメーション」の略。デジタル化を用いた業務改善でとどまらず、ビジネスモデルそのものを変革させること。
※2「情報通信技術」の略。情報処理・通信技術の総称。
※3 大阪府「働きやすい職場環境づくり伴走支援プログラム」。ICT機器の導入に加えて専門家を交えながら介護現場の生産性向上を目指すプログラム。
※4 日本の高齢者率が35%に達し、医療介護サービス供給のひっ迫など社会保障体制が危機を迎えるといわれている。



お問い合わせ
介護老人保健施設 おひさま園
住所 〒535-0021
大阪市旭区清水2-1-21
☎06-6952-0101
HPはコチラ



第2回

キッズスマイルフェスタ 清水会カップ

日時 2026.5/23(SAT)
8:30~16:00(雨天中止)

場所 大枝公園 多目的球技場
〒570-0052 大阪府守口市松下町1-80

共催:FCティアモ枚方　FC TIAMO HIRAKATA
協賛:守口市　守口市

問い合わせ先
清水会カップ実行委員会
大阪市旭区新森3-1-12　新森ビル2階
TEL:06-6952-5188　FAX:06-6952-5221

地域をむすぶ 清水会のわくわく市



日時
2026.5/30(SAT)
13:00~15:00

場所
旭さくら苑 正面玄関前
大阪市旭区清水3-15-23

入場無料
どなたでもご参加いただけます。

LINE登録で当日使えるクーポンをプレゼント!この機会に是非ご登録ください。

各種イベント詳細は、
清水会ホームページにてお知らせします。
https://www.seisuikai.net/

医療法人 清水会
社会福祉法人 清水福祉会



50周年記念動画を公開中!

50周年記念動画はこちらから

https://www.youtube.com/watch?v=F68SCiEvxag

清水会グループは2025年3月、創立50周年を迎えました。
この大きな節目を記念し、特別動画を制作いたしました。地域の皆さまに支えられ歩んできた50年の軌跡と、未来へと続く姿をイメージしています。
動画にはグループで働く多様な職種の職員が登場し、普段はお見せする機会が少ない現場の活気や、日々の真剣な表情を映し出しています。
本動画はYouTubeで公開しておりますので、ぜひご覧いただけますと幸いです。



カラダ喜ぶ

レシピ紹介コーナー

栄養課

今回の献立 **アスパラとささみの梅みそかけ**



晩春から初夏が旬のアスパラには、βカロチン（ビタミンA）、ビタミンC・Eが多く含まれており、免疫力アップや高い抗酸化作用でアンチエイジング効果があります。また、血管を丈夫にするルチンも多く（特に穂先に多い）含まれ、動脈硬化や高血圧の予防に効果的とされています。
アスパラならではのアスパラギン酸は新陳代謝を促進し、鶏肉の良質なたんぱく質を加えることで、疲労回復・スタミナ増強に役立ちます。

有料老人ホーム
鶴見緑地
管理栄養士
佐野 真由美
Sano Mayumi

作り方

1. アスパラは根元の硬い部分の皮をむきカットする。
2. 塩蔵わかめはすすいで塩を落として水に5分さらし、食べやすい大きさにカットする。
3. 筋を取ったささみを耐熱容器に入れ、フォークで全体を刺して酒大さじ1杯をふって少しおき、かるくラップをかけ600Wで3～4分電子レンジで加熱する。粗熱が取れたら粗く裂く。(蒸し汁は取り置く)
4. アスパラも耐熱容器に入れ、酒1/3をふり、600Wで2分電子レンジで加熱する。
5. 梅肉・白みそ・ささみの蒸し汁を混ぜ合わせ、梅みそを作る。
6. ささみ、アスパラ、わかめを器に盛り、梅みそをかける。

新陳代謝と疲労回復に役立ちます♪



ご用意いただく材料（2人分）

・ささみ	4本	・アスパラ	4本
・酒	大さじ1杯	・酒	大さじ1/3杯
・塩蔵わかめ	20ｇ	・梅肉 梅干し	2ヶ分
		・白みそ	大さじ1と1/2杯
		・砂糖	少々

もりぐち清水会 **外来診察時間変更のお知らせ**

医療サービスの質の向上と働き方改革の一環として、午後の診察時間が変わりました。
2026年4月より、診察時間は右表のとおりとなりました。ご理解とご協力をお願いいたします。



受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前診 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	－
午後診 15:00~17:00	○	○	○	○	○	－	－